



佐賀大学 広報誌 かがらす

特集

キャリア支援の現場から
～キャリアセンターの就職支援活動～
夢を掴んだ先輩たち

トピックス

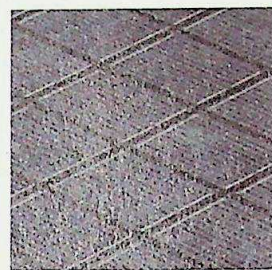
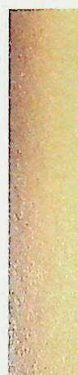
農学部生、「悠々知酔^{かも}」を醸す!!

イキイキ佐大生

佐賀大学校友会だより

サークル紹介

Etc



キャリア支援の現場から

キャリアセンターの就職支援活動

佐賀大学キャリアセンターは、平成19年、より質の高い就職が実現できるように、それまでの「就職相談室」にキャリア教育機能を付加した就職支援組織として設置されました。

キャリアセンターでは、就職ガイダンスや就職活動支援に加え、学生の人生設計や進路選択に関わるキャリア教育まで含んだ学生支援を行っています。ここでは、キャリアセンターでおこなっている具体的な支援内容について紹介していきます。

1 カリア形成の計画づくりにつながる1年次『キャリア教育』の提供

1年次前期の大学入門科目（必修）の中で、キャリアアカウンセラーによる「キャリアデザイン入門」とOB・OGによる講話の2講義を提供しています。早い段階でキャリア教育科目を受講することにより、学年進行に伴うキャリア形成と就業力養成の計画を立てることができます。

2 「自分発見」のための『インターンシップ』参加支援

1年次から企業・行政機関等の職場への「インターンシップ」参加を支援しています。就業体験をすることにより、キャリア形成の必要性や職業観、就労

意識に気付き、自分発見の機会を得ることができます。

3 人生設計に役立つ『キャリアデザイン（自分発見）講座』の提供

1～3年次後期では「キャリアデザイン（自分発見）講座」を選択受講することができます。この授業は、佐賀大学同窓会の協力により、OB・OGの貴重な苦労話や成功談等のキャリア経験を拝聴し、身近なロールモデル（人生のお手本）を見ることができます。

4 ねらい通りの「就活」を始めるための『課外のキャリアガイダンス』支援

平成22年に改正された大学設置基



いけがみ とし のぶ
池 上 寿 伸
キャリアセンター長



キャリアセンタースタッフ

5

学長等による企業等訪問

学長や理事も、まず足下からと、地元企業を中心に企業訪問も重ねており、地元の大多数の企業と顔の

間増加しています。

■公務員講座・教職講座・簿記講座等
生協主催の受験対策講座を受講できます。合格者数はこの5年

ています。

■キャリア講演・ガイダンス
有識者によるキャリア講演や業界研究、就職情報・Web活用

法、適職検査等、就職に関するセミナーやガイダンス事業を実施しています。

■就職相談会
月曜から金曜まで毎日おこなっている就職相談会では、進路相談や履歴書添削、面接指導など、就職に関することであれば何でも相談ができます。人事採用担当や管理職経験者、キャリアカウンセラー等が対応しています。

準には、「社会的・職業的に自立する人材を養成するためのキャリアガイダンスが必要である」と謳われています。『キャリアガイダンス』として、キャリアセンターでは以下のような就職支援事業を提供しています。

6

就職情報の有効活用に関する「就職システム(Live Campus Job Hunting System)」

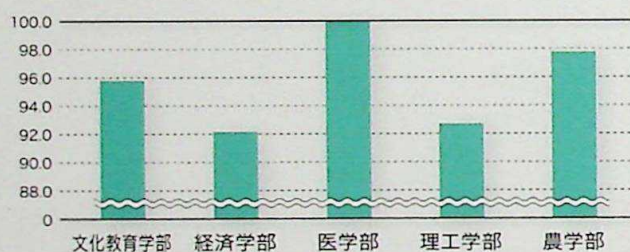
就職システムの導入によって、学外からも求人票の閲覧を行うことができるようになりました。また、就職相談予約や学内合同会社説明会参加予約等もキャリア

える関係を築いてきました。このようなトップセールスも就職先拡大に大きく貢献したのではないかと思います。地元企業の方々にご協力いただき、感謝の意を表します。



就職相談風景

平成22年度就職率 (H23.5.1現在)



私たちキャリアセンターの各々は、学生ひとりひとりと「目を合わせて支援する」ことをこころがけ、これからも業務を進めていきます。キャリアセンターの詳細についてはホームページをご覧ください。

(<http://job.admin.saga-u.ac.jp/>)

『きずなの会』の結成

同窓会と協力し、民間企業のOB・OGに呼びかけて『きずなの会』を結成しました。キャリアアンカー(やりたこと、するべきこと)を持って活躍中のOB・OGの社長や役員の方が、後輩学生の就職や人材育成を応援してくださっています。

センター窓口のiPadや学内外のパソコンから申し込みができます。



求人情報検索中

佐賀大学で行われた
合同会社説明会の様子

先輩たち

今の会社に入ったきっかけは？
 「人に安心を与える仕事につきたい」という軸を持ち就職活動を行ったことがきっかけです。この軸を実現できる生命保険会社を志望しました。その中でメットライフアリの「女性」が活躍できる環境に魅力を感じました。私の働いているメットライフアリコ長崎ビルでは社員の8割以上が女性であり、その中で、リーダーとして活躍されている先輩が数多くいらっしゃいます。やる気と実力があれば、性別は一切関係ない環境があるのも魅力でした。

メットライフ
アリコえ さ き か る み
江崎 和美 さん平成22年度文化教育学部
国際文化課程卒

社会人としてこれからの目標を教えてください。

知識を「つける」から「活かす」へ挑戦していくことです。私の所属する保険金査定部は「迅速かつ正確にお客様へ保険金・給付金をお支払いする」部署です。お支払いの手続きの際、保険商品、医学、法律、約款の知識など多角的な視点を持つて業務を行います。入社1年目の私は、その知識をつけることに精一杯でした。これからは、この知識を集約した上でお支払いの手続きの際や、実際にお客様とお話する際に、わかりやすい説明を行うことなどに活かしていきたいです。

後輩へのメッセージをお願いします。

就職活動で大切なことは、徹底的に自分と向き合い、様々な会社の説明会に足を運ぶことだと思います。私は大学2年生の夏から、自己分析を繰り返しました。正直、目を逸らしたくなる時もあります。しかし、絶対に逃げないで下さい。そこには必ずあなたなりの何か軸や魅力があるはずです。そして様々な会社を見て下さい。就職サイト、説明会、インターンシップなど手段は数多くあります。私は300社以上の会社の中から自分の軸を実現できる会社を選びました。自分の軸を持つことは、就職活動中はもちろん、働いていく上でも常に自分を支えてくれます。自分の人生、後悔のないように突き進んでください。応援しています！

株式会社製作所
九州支社た し ろ こ う じ
田代 皓嗣 さん平成22年度経済学部
経済システム課程卒

今の会社に入ったきっかけは？

日立に入ったのは、『やりたいことができる会社だと思ったから』。

私がやりたいことは2つ。『海外での仕事』と『スケールの大きな仕事』です。

『海外での仕事』を重視する理由は、自分の英語力を活かせるから(TOEIC 945点)。

『スケールの大きな仕事』を重視する理由は、ズバリ見栄を張りたいから(笑)。

そんなに大したことのない理由でも、きちんと受け入れてもらえるものです。

社会人としてこれからの目標を教えてください。

『グローバルで通用する人材になる』

という目標があります。

そのためのステップを上げてみますと、

1. 3年以内に、身近にいる先輩方のような『成果(ex.受注額)』を出せる人材になる。

2. 5年以内に海外赴任を経験する。(赴任期間は年単位を希望)

3. 30歳前後でMBAを取得する。

と、このようなステップがあげられると思います。

まずは今できる1.について達成しようとして奮闘中です。

後輩へのメッセージをお願いします。

常に自分に『Why』を問いかけてください。

就職活動において、そして社会人になつてからも、これは重要であり必要なスキルだと思っています。

例えば、就職活動では『なぜこの企業を選んだのか』『なぜあなたはこの企業に貢献できるのか』などたくさんのWhyに晒されると思います。

これは社会人になつてからもそうです。なぜそう思うのか、なぜその行動をとったのか、など『Why』を問われる場面はより一層多くなつていきます。

ですから是非今のうちから『Why』と自分に問いかけることを習慣にしてみてください。

夢を掴んだ

**厳しい就職戦線を
勝ち抜いた先輩からの
メッセージ**

日立化成工業(株)

こ が けん じ
古賀 健児 さん

平成22年度工学系研究科博士前期課程
循環物質工学専攻修了



今の会社に入ってきたきっかけは？

大学時代に研究していた、リチウムイオン電池の材料分野で世界トップシェアを誇る企業であることを知ったのがきっかけでした。その後、会社説明会に参加し、将来性や技術力の高さに

魅力を感じたため、採用試験に応募しました。試験を進んで行く中で、出会った日立化成の方々の人柄に強く惹かれ、内定を頂いたときには他社の内定を断り、すぐに入社を決意しました。

社会人としてこれからの目標を教えてください。

自ら考え、決断・行動できる人間になることです。簡単なことのようにも思いますが、この難しさを日々、働く中で実感しています。また、物事を定性的ではなく定量的にとらえられるようになることも大きな目標の一つです。これらは、研究者としては特に必要なスキルであると考えていますので、社会人として経験を積む中で成長し、身についていきたいです。

後輩へのメッセージをお願いします。

まずは、今しか出来ないことを楽しんでください。勉強に没頭する、留学にチャレンジする、長旅に出る、アルバイトをする、友達の輪を広げるなど、学生時代にしか出来ないことはたくさんあります。その経験は必ず自分自身の個性を表現するための強みになります。そしてその強みを力に自分の夢を叶えてください。自分が起こした行動は、必ず自分に返ってきます。学生時代の一日一日が、社会人になってからの一日一日に繋がっていることを忘れずに、今を大切に過ごしてください。

JAフーズさが

の なか み ほ
野中 美歩 さん

平成22年度農学部
生命機能科学科卒



今の会社に入ってきたきっかけは？

もともと地元佐賀の食品関係の会社で仕事をやりたいと思っていたのが入社したきっかけです。はじめは商品開発にあまり興味がなかったのですが、社員の方の話を聞いていくうちに自分がやりたかったことが商品開発業務に含まれていることを知り、やりがいがある仕事だと感じて入社しました。

社会人としてこれからの目標を教えてください。

今私は、冷凍食品の開発業務を行っているのですが、自分が携わった商品がロングヒットすることが目標です。簡単なことではないのですが、会社の同僚や上司の方々と協力して新商品の開発に

取り組み、たくさんの人から愛され続ける商品を作っていきたいと考えています。まだまだ、周りに迷惑をかけていますが、いろんなことに挑戦してがんばっていききたいです。

後輩へのメッセージをお願いします。

バイトや学校の中など身近な人物で「こんな人になりたい!」と思うような目標となる人を探してみてください。目標となる人がいることで努力することが楽しくなるし、壁にぶつかったときには参考にできる何かをその人から見出すことができるはずです。また、目標となる人を見つけるためにもいろんな人と関わりを持つ労力を惜しまないでほしいです。そうすれば、楽しくて大切な思い出になるような学生生活になると思います。

大学4年間の学生生活は本当に貴重なものです。自分の時間を有効に使い、後悔のない学生生活を送ってくださいね。



授業の質の向上を目指した

ティーチング・ポートフォリオ

授業の質の向上を目指した

ティーチング・ポートフォリオ

ティーチング・ポートフォリオ（以下TPと略記）とは、教員が「自らの教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様な根拠資料（例えば、講義資料や授業評価アンケート結果など）によってこれらの記述を裏づけた教育業績についての厳選された記録」です。今まで、大学教員は、自身の研究については学術論文という形でまとめていましたが、教育については同様の作業をあまりしていませんでした。そのため、いくら素晴らしい教育実践をしている教員がいたとしても、その教育実践・方法が教員間で共有できない、また、優れた教育実践をしている教員が評価されにくい、という問題がありました。TPは教育についての厳選された記録ですから、これらの問題を解決するものとして期待されています。

TPの構造

TPは、A4サイズで8～10ページの本文編とそれを裏付ける根拠資料からなり、本文編には、図中の赤字で示した主要5項目や教育改善へ取組などが記載されています。このようにペー

ジ数制限を設けると、教員は自身のベストを自ら考えて選ばなければならないため、より深く自己省察をする必要があります。

TPの構造

- 教育の責任（本学において何をしているのか）
- 教育の理念（なぜ、やっているのか）
- 教育の方法（どのようにやっているのか？
クラスの様子が目に浮かぶように）
- 教育の成果（どうだったか）
- 今後の目標（これからどうするのか）
- その他（自分の研究との関連、改善の工夫など）

TPに基づく教育改善

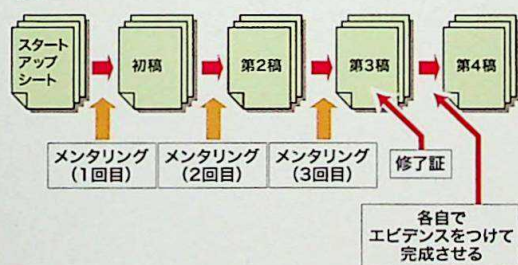
教員は、「今後の目標」を達成できるように日々努力し、毎年あるいは数年おきに「今後の目標」をチェックしてTPを更新すれば、教員は教育者としての自身の成長を実感し、結果として教育改善につながると期待されます。また、TPは教員の教育活動を可視化したものですから、お互いにTPを参照することにより、教員間で教育の情報も共有できます。さらに、学

生や保護者の皆さんもTPを読めば、教員がどのような考えの下で、どのような方法で教育を行っているかが分かるので、大学教員が真剣に教育に取り組んでいることが分かり、一種の安心感が得られると思います。

TPの作成法

教員は3日間のTP作成ワークショップ（以下TPWSと略記）に参加し、メンターと呼ばれるTP作成支援者との対話（メンタリング）を通して、3日間かけてTPを作成します。佐賀大学では、2009年9月に第1回TPWSを開催した後、2012年3月までに計6回TPWSを開催し、学内教員25名、学外教員11名の教員が本学TPWSでTPを作成しています。本学は九州におけるTP作成拠点といえるでしょう。

TP作成の流れ



これまでの成果と今後の抱負

今までの活動を踏まえ、2011年11月には「ティーチング・ポートフォリオの導入・活用シンポジウム in 佐賀大学2011」を2日間にわたり開催し、学内外合わせてのべ約250名に参加して頂きました。さらに、2012年3月には拙著「ティーチング・ポートフォリオ導入・作成ガイド——大学教員の教育者としての業績記録——」が近代科学社より刊行されました。

TPは教育改

善の道具として期待されるものではありませんが、本格的に導入するのであれば、最終的には学生、教職員、大学すべてにとってメリットがあるような環境作りが大切だと思います。今後は、この点を踏まえて議論を深め、本学が教育先導大学としてTPのよりよい導入・活用を全国へ提案できればいいと思っています。

TPWSにおける
作業風景本見 弥
高等教育開発センター
ポートフォリオ開発部門長

副作用の少ない 抗がん剤を 佐賀から



木村 晋也

医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科 教授

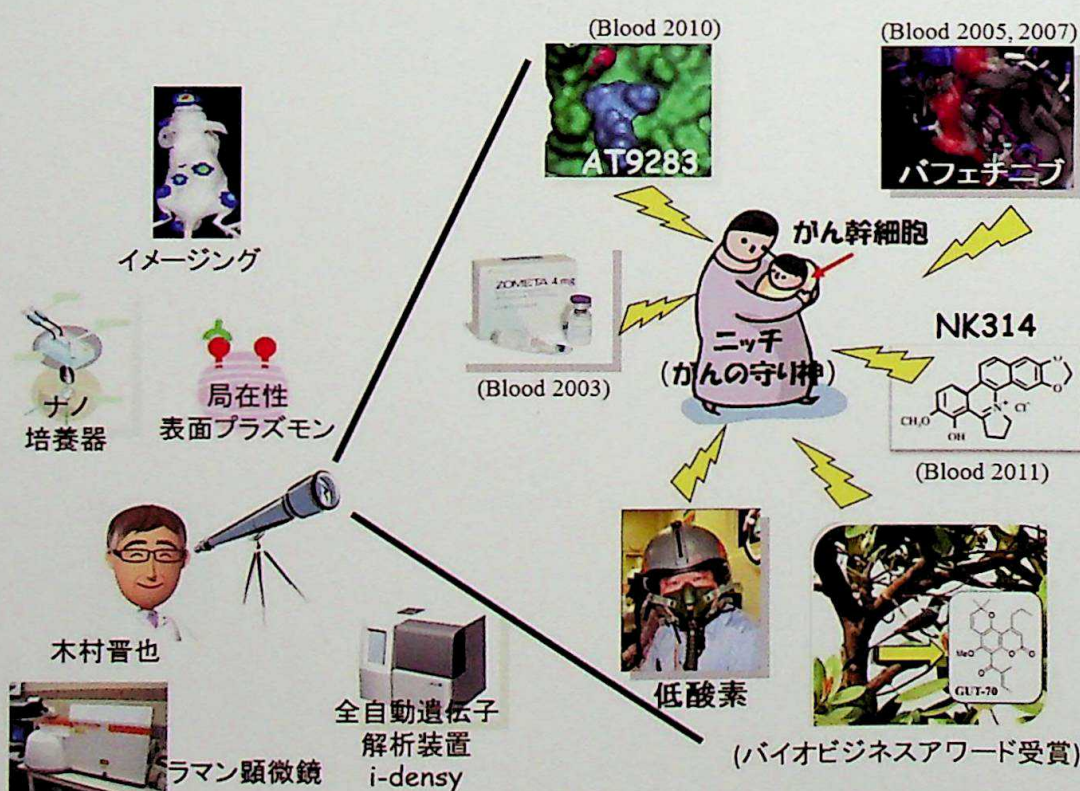
私たちの教室では、白血病や肺がん、そして喘息などについて研究を進めています。木村(教授)らが開発し、すでに欧米で臨床試験の進んでいる慢性骨髄性白血病の特効薬バフェチニブ研究の継続、さらに白血病細胞の中でも、再発の原因となる白血病幹(かん)細胞の殲滅(せんめつ)方法について研究をしています。またブラジルおとぎり草から、これまでの抗がん剤とは全く働き方の違う新規抗がん剤GUT-70を発見し、2012年のバイオビジネスアワードに輝きました。一戸(准教授)らは、より安全でより有効な造血幹細胞移植法の開発に取り組んでいます。末岡(診療教授)らは、九州に多い成人T細胞性白血病に有効な薬剤の開発に取り組んでおり、有望な化合物NK314を見出し、2011年の米国血液学会雑誌(Blood)に掲載されました。肺がんの遺伝子診断にはこれまで、気管支鏡で肺がんの組織を取ってくる必要がありました。荒金(診療准教授)らは、血液中にごく少量流れ出てくる肺がん由来の遺伝子を用いて全自動で異常を見つける方法を開発し、現在臨床試験を行って

います。林(診療教授)らは、喘息などの炎症性疾患の解明に取り組んでいます。また新たな薬の開発や発見には、新たな機器の開発・利用が重要であり、並行して進めています(図)。

私たちの研究室では、基礎研究に留まるのではなく、その成果をできるだけ臨床試験に導入し、実際に患者さんに役に立つ薬および検査法の開発を目指しています。理工学部、農学部出身の学生さん達ともぜひ私たちの研究室で一緒に仕事をしたいと思っています。興味のある方は、木村までご連絡ください(E-mail; shkimu@cc.saga-u.ac.jp, TEL; 0952-34-2366)。



佐賀Labo



農学部生、 「悠々知酔」を 醸す!!



小林 元太
農学部生命機能科学科
応用微生物学分野 准教授

佐賀大学オリジナル清酒「悠々知酔」が誕生して5年が過ぎ、平成24年3月1日に6度目の販売日を迎えました。「悠々知酔」は農学部附属資源循環フィールド科学教育研究センターにて栽培された減農薬「ヒノヒカリ」を原料として、加藤富民雄・佐賀大学名誉教授が分離した農学部生命機能科学科応用微生物学研究室オリジナル酵母にて製造することから「佐賀大学オリジナル」という冠を戴いております。過去5回の造りでは蔵元さんに全てお

麹造り

研究室オリジナル酵母にて製造することから「佐賀大学オリジナル」という冠を戴いております。過去5回の造りでは蔵元さんに全てお



試飲会にて

任せしておりまして、「これでは佐賀大学オリジナルではない!」と思い立ち、昨年は農学部の学生や教員に麹造りに参加してもらいました。しかし、「これで佐賀大学オリジナルと言えのさだろうか」と少し悩みました。そこで、天山酒造の後藤杜氏さんと相談して、学生に「どんなお酒を飲みたいのか、飲みたいお酒を造るにはどうしたら良いのか」を考え、もらって実践するというのを試みました。白羽の矢が立ったのは当研究室の4年生の的場くん、修士1年の渡

辺さん、3年生の平地さんです。彼らに今年の「悠々知酔」の目標酒質を決めてもらうために利き酒を繰り返し行った結果は「後口スッキリの辛口でほのかな香り」というコンセプトでした。さらに仕



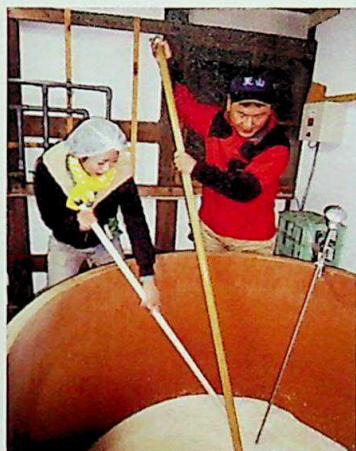
麹造り



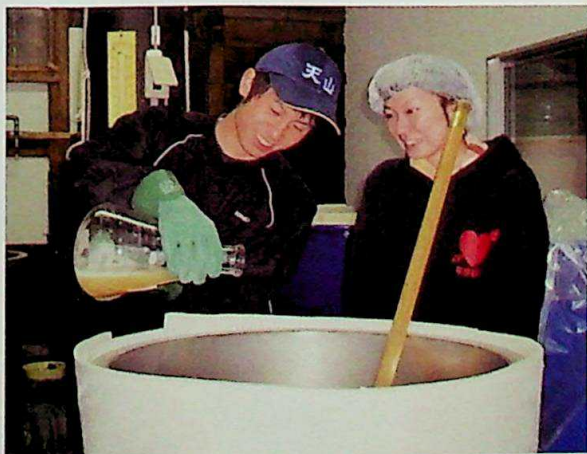
込み配合も決定し、洗米・麹造り・甾造り・仕込みと全ての工程を学生達と行いました。12月のクリスマス時期も極寒の酒蔵でお米を洗い、麹室で麹を造り、酒母を仕込み、卒論・修論研究、就職活動、講義等々の隙間をぬうように時間をやりくりしながら、やっと平成24年2月6日に搾りの日を迎えることができました。搾りたての原酒はアルコール17.4%、日本酒度+2.3であり、味わいもほぼ目的を達成したと言える出来栄でした。試飲会でも佛洲学長や天山の七田社長からお褒めの言葉をいただき、学生諸君も大変嬉

しそうでした。学生教育という面でも、今回の試みは座学では分からない製造現場の様々なことを学べた貴重な数ヶ月間でした。詳細は本学ホームページのブログ「悠々知酔」只今「醸し中」をご覧ください。

皆さま、一味違う今年の佐賀大学オリジナル清酒「悠々知酔」を是非ご賞味下さい。



留仕込み



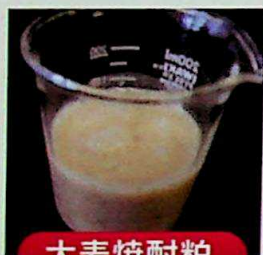
甾造り

佐賀ビジネスプランコンテスト グランプリ受賞

美肌セラミドの発見



浦野 義 崇
農学部生物環境科学科3年



大麦焼酎粕

これが…



化粧品などに…!

私達は、北垣浩志准教授の生産システム情報学研究室で酵母や発酵、スフィンゴ脂質について研究を行っています。この度、「第7回佐賀ビジネスプランコンテスト」においてグランプリを受賞しました。

今、私たちの生活のあらゆる側面に研究の成果が潜んでいます。そこで、私たちは自分たちの研究もそのように発展できないかと考え始めました。そんなときに北垣先生からビジネスプランコンテストの存在を教えて頂き、私たちのチームは動き出しました。

テーマは「焼酎かすからの美肌セ

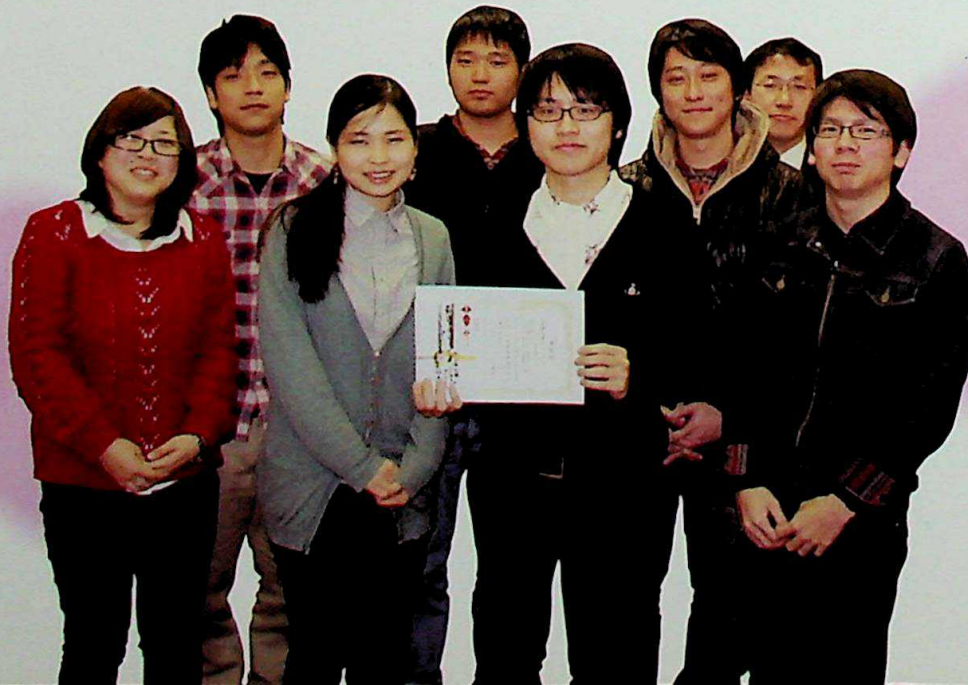
ラムドの発見と機能性食品への応用」。焼酎かすは現在大量に発生し、再利用方法が求められています。セラミドは抗アレルギー作用、保湿作用などがあり需要が高いですが、高価格なことから低価格化が求められています。これら二つの需要を合わせたビジネスを行うことが私たちの目指したものでした。

初めて耳にするマーケティング戦略や売上・利益計画など馴染みがない言葉。最初はどのようにプランを建てれば良いかわからず、苦悩する日々が続きました。しかし、チームで意見を出し合い、アンケートなど

の調査を行い、先生や先輩からのアドバイスによってプランが形になっていきました。そのプランの改善は発表直前まで続きました。今、手元にある資料を見ても最初に作ったものと最終的にできたものでは大きく違います。様々なアイデアによるプランの絶え間ない改善が今回の受賞に繋がったのではないかと考えています。



今回のビジネスプランを通して様々な事を学び、経験ができました。この経験を生かすとともに、これからも社会に貢献できるように一層研究活動に励んでいきます。



賢い消費者になるために

～だまされないための知恵～

私 たちは経済法を研究されている岩本諭教授のもと、消費者法・消費者教育について学んでいます。ゼミの活動の一環として1月21日に佐賀市で開催された消費者フェスタで「身近な消費者被害」について寸劇を交えながら発表しました。テーマは放射能・食品の安全・押し買いの三つです。

今回の消費者フェスタでの活動は私たちにとって大きな経験とな

り、これからも身近な消費者被害について研究をすすめ、さらに地域の方々に発表をし、賢い消費者になるための知識を伝えていきたいと思っています。また、先輩方から引き継いでいる消費者教育テキストの作成にも力を入れ、消費者被害についてよりよく理解していただけるようこれからも努力していきたいと思っています。



おおにし ゆみこ
大西 山美子

経済学部経営・法律課程3年

放射能がもたらす消費者被害

放射能への不安につけこむ広告や勧誘など

よくある事例

- 通信販売
 - 放射性物質を完璧に除去するとうたう浄水器
 - 放射性物質を除去するとうたう健康食品
- 訪問販売
 - 放射性物質を吸着除去するという温浴器
 - 市役所から来たという人から説明された放射性物質の侵入防止用換気扇フィルター などなど

被害防止のポイント

- 噂を信じず、政府の情報を参考に正しい知識を身につける
- 放射性物質の除去の広告や勧誘を鵜呑みにしない



ゼミのグループと



消費者フェスタの様子

食品表示の安全性

カット野菜とは

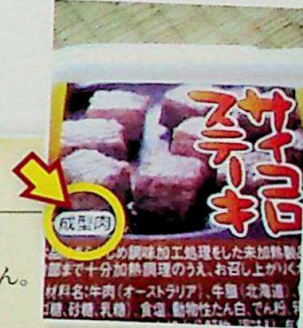
- 販売されているカット野菜は黒ずんでしまったら売り物になりません。そこで、変色防止、殺菌・消毒などの処理が施されています。

成型肉とは

- 横隔膜や内臓など端肉(くず肉)を脂肪や食品添加物(トレハロース等)などで接着して成型した食肉。イメージラベルに、「柔らか加工」「霜降り加工」など書かれているものは「成型肉」の証です。知らずに添加物を摂取してしまう恐れがあります。

安全な食品の選び方

- 表示を見てしっかり判断する
- 食品表示の見方や食品添加物についての知識を身につける



押し買い

不意に自宅を訪問して鑑定を行うと偽るなどの手口で口車に乗せ、強引な勧誘の上、貴金属やアクセサリー、和服などの高級品を買いたくこと。押し買いはクーリングオフ制度が適用されません!!

よくある事例

- 古い着物などがあったら買い取ります
- ペースメーカーに利用する貴金属が不足しているので指輪やネックレスを売ってくださいませんか などなど
- 震災の被害者支援のために貴金属を集めています

被害防止のポイント

- はっきり断る ・簡単に家に入れない ・1人に対応しない
- 業者に許可証等の提示を求める ・何かあったら警察・消費生活センターに相談する



フェスタでの寸劇の様子

福島に想いをつなぐ、たすきリレー



福島の学生(右)へたすきを渡す最終ランナー

「福」島の学生がJASP(Japan All Student Project)という団体を立ち上げて、3.11を最幸の日に変えようと動き出している。」その話を聞いたのは2011年が終わろうとしている頃でした。3.11、東日本大震災があった日。地震があった時、僕は日本を縦断する1人旅をしていて旅の終盤である大分県の駅のホームで大震災のことを知りました。旅をしている中で、道を教えてくれたり助けてくれた東北の人たちに何かできないかと考え、帰ってきてから義援金を募ったり支援物資を送る活動などを続けていました。あれから1年が経った今、震災がすでに過去の事になってしまってい

る。そんな中、入ってきたのが今回の話でした。「全国の学生とつながり、未来を創るプロジェクト」被災地から遠く離れた九州という土地、その中の佐賀県でもできることがある、佐賀県だからこそ伝えられるものがあると思ひ参加しました。

そのJASPが全国の学生を中心にして行う「たすきリレー」というイベント。これは各都道府県で集まった47名のランナーで総合47km(1人1km)を走り次の県へとたすきを渡し、【日本全国でたすきを繋ぐ】という内容です。一番苦労したのが、ランナーを安全に走行させるためのコース作りやポジショニングでした。47kmを走りきるまでには、8時間



みんなからの寄せ書き



JASP in 佐賀代表

かとう しんご
加藤 真吾

経済学部経済システム課程3年



次のランナーへたすきリレー

以上もの時間がかかり、ランナーの防寒対策や効率が良い運営をしなければならない部分がとても大変でした。

今回のたすきリレーで特に意識したのが【想い】という部分です。たすきリレーというイベントは1つのきっかけであって、この想いのアツさが少しでも多くの人に伝わり、さらに次の活動があって…そのような形で佐賀からもっともっと元気を送れたらな、と思います。3.11という日を迎えた時にこの団体は終わるのではなくて、イベントでできた繋がりをどんどん広げていき佐賀から日本に元気を送り続けたいと思います。



企画の中で行われたトークショー



工学系研究科システム生産科学専攻
博士後期課程3年

ショウ トウ ゲン
肖 冬 元

私と「佐賀大学校友会 国際交流奨励金」

私たち博士課程の学生たちは、学会での発表や、学会誌への学術論文の投稿など、所属学会の活動に積極的に取り組むことを求められています。社会が国際化の一途を辿っているなか、各国からの研究者たちが集まり、海外で開催される学会活動などが増えてきています。しかし、私のように学費や生活費などの負担があるにもかかわらず、研究経費などがまったく無い博士課程の学生にとって、このような海外での学会活動は、各国からの研究者たちと交流したり、研究についての最新情報などを入手したりする絶好のチャンスでありながら、経済的支援が無ければ、費用もかなりかかるた

め、「敬遠」せざるを得ない場合があります。「佐賀大学校友会」はまさに、このようなことをも想定された上で、「国際交流奨励金」を設立されたのではないかと、私は思います。私は「佐賀大学校友会国際交流奨励金」をいただいて、2011年9月に、中国社会科学院日本研究所と日本社会文学会が北京で共同主催し、中国清華大学が後援する「九・一八事変」から80年—中日関係の中で社会と文化、文学を考える国際シンポジウム」と、佐賀大学文化教育学部が中国華東師範大学(上海)で行う国際間授業に参加しました。これらの国際交流活動が大変よい勉強になったことは、「活動実績報告書」のなかで既にご報告していますので贅言をしませんが、ここでは、ただ、「佐賀大学校友会」に対し、心から感謝の意を申し上げたいと思います。



国際シンポジウムの様子

佐賀大学校友会「国際交流奨励金」の給付を受けた学生からのメッセージを紹介します。

佐賀大学校友会だより

「校友会の学生支援事業が役立っています」

学生さん必見! 「課外活動等支援金」「緊急支援奨学金」「ボランティア活動援助金」「国際交流奨励金」「海外派遣奨励金」を実施しています。

支援事業の詳細については、佐賀大学校友会事務局までお問い合わせください。佐賀大学校友会HPに実績を公表していますので、併せてご覧ください。

佐賀大学校友会では、会員に
なっただけの方を募集しています!!

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1 (国立大学法人佐賀大学 本部3階)

電話 0952-28-8390

(月曜日から金曜日 8:30~17:15 [祝日は除く])

ホームページURL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>

会費

- 正会員(個人) 20,000円(終身会員会費)
2,000円(年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員(団体に限ります)
1口 50,000円

払込方法

- 現金又は郵便局振込にてお願いいたします。
- ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
- ・郵便局の場合は、振替口座/01760-0-49425
振替名義/佐賀大学校友会
(振込料金は校友会で負担いたします。)



陸上競技部(鍋島キャンパス)



部長
まつ おか ゆう き
松岡 優毅
医学部医学科2年



こんにちは、佐賀大学医学部陸上部です。私たちは現在部員15名と少数ですが、アットホームな感じでメンバー同士の仲が良く活動しています。講義や実習で時間が合わないこともあります。水曜日・土曜日を定期練習日としており、佐賀の総合グラウンドにて練習しています。

短距離ブロックでは、トラック練習のほかに、ロードバイクでの遠出なども取り入れCreativeかつEffectiveな練習を日々追求しています。長距離ブロックでは、本庄の陸上部との交流が盛んで、また高校生や一般の方と合同で練習するため、非常にHigh-Qualityな練習を行っています。

また、去年からただ競技を愉しむだけではなく、社会活動の一環として、盲人伴走ランナーや障害を持った子供たちとスポーツを通じてふれあうキッズスポッチャにも取り組み始めました。

簡潔に私たち陸上部の紹介をさせていただきましたが、今年は去年以上に競技に社会活動に邁進していきたいと思っていますので応援よろしくお願いします。



フットサル部(本庄キャンパス)



部長
ひ わたし けん と
樋渡 健人
文化教育学部人間環境課程3年



私たちフットサル部は現在約40人で活動しています。

みなさん、フットサルというスポーツをご存知ですか。フットサルとは、室内で行う少人数制のサッカーのことです。バスケットのようなスピード感があり、点数がどんどん入るので、プレーする側も観る側も楽しめる魅力的なスポーツです。

昨年サークルから部活動に昇格した記念すべき年に、九州大会で準優勝し全国大会に出場しました。

試合では経験者だけでなく、初心者も活躍しています。

“楽しみながら勝つ”をモットーに日々練習しています。

フットサルだけでなく、休日には部内で運動会を行ったり旅行にも頻繁に行っています。

部員全員仲が良く、練習中も試合中にもぎやかで笑顔が絶えないチームワークの良いチームです!!

今年も佐賀大学の代表として全国大会に出場し、そこでも結果を残せるよう日々努力していきたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。



佐賀大学美術館設置 のための募金開始

佐賀大学は、2013年(平成25年)10月1日に「旧佐賀大学」と「佐賀医科大学」との統合10周年を迎えるにあたり、教育・研究に有意義に活用するとともに、地域・社会貢献の一環として美術館を設置し、併せて現在、佐賀県の都市計画に沿った正門前道路の拡幅工事の終了時に、佐賀大学のシンボルとなる正門を整備することとしました。

美術館設置事業募金は、美術館設置及びその後の運営資金として有効活用させていただきます。

皆様のご協力ご支援の程をよろしくお願いいたします。

国立大学法人佐賀大学 学長 佛淵 孝夫

佐賀大学美術館概要

設置場所	佐賀市本庄町1番地 佐賀大学構内
延床面積	1,200㎡～1,500㎡
構造	鉄筋コンクリートまたは鉄骨造2階建
主要施設	展示室、収蔵庫等

事業工程

1.基本設計	～平成24年3月
2.実施設計	平成24年4月～平成24年9月
3.建設工事	平成24年11月～平成25年8月
4.開館	平成25年10月予定

募金要項

- 募金の目的
佐賀大学統合10周年記念事業として、佐賀大学美術館設置及びその後の運営資金調達(佐賀大学統合10周年記念式典等は別途開催予定)

- 募金目標額 6億円

- 募金対象 募金の趣旨に賛同する個人及び法人・団体

- 募金期限 2013年(平成25年)9月30日
(必要に応じて延長する場合があります)

- 寄附額 (個人1口1万円)(法人・団体1口5万円)

※1口未満のご寄附につきましても、佐賀大学美術館設置事業資金及びその後の運営資金として有効活用させていただきます。

- 募金に関するお問い合わせ窓口

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

国立大学法人佐賀大学 総務部総務課(美術館設置事業窓口)

TEL 0952-28-8333 FAX 0952-28-8118

E-mail: museum@mail.admin.saga-u.ac.jp

4月下旬にホームページを開設予定です。

美術館外観イメージ図



地域と共に 未来へ向けて!

J1昇格という夢を実現させた「サガン鳥栖」の 新たな超戦を佐賀大学は応援します

今季、J1という新たなステージで戦うこととなった地元佐賀県のサッカーチーム「サガン鳥栖」の運営会社である株式会社サガン・ドリームスと佐賀大学は、平成23年12月には正式に連携協力協定を締結しました。さらには平成23年度卒業生の黒木晃平さんが、佐賀大学初のJ1選手としてサガン鳥栖への入団を果たしました。

「地域と共に未来に向けて発展し続ける大学」を目指す佐賀大学は、その証のひとつとして、今年もサガン鳥栖の本拠地である鳥栖市の「ベストアメニティスタジアム」にピッチ看板を設置しました。

みなさん、スタジアムへ。そこには佐賀大学と地域の「絆」があります。



ピッチ看板



連携協力協定式。左から伊藤孝夫学長、竹原稔サガン・ドリームス社長

新酒の販売が 始まりました!

佐賀大学オリジナル特別純米酒

悠々知酔

佐賀大学が地場の酒造メーカーと連携し作り始めた、大学オリジナルのブランド清酒「悠々知酔」の新酒が出来上がりました。

今年は、農学部学生達がコンセプトを決め、洗米・麹造り・仕込み・絞りに参加し、小城市の「天山酒造」で製造されました。(詳細は7ページをご覧ください。)

すっきりと爽やかな仕上がりとなっております。是非一度お試しください。(数に限りがありますので、お早めに...)



お求めは...
佐賀大学生協同組合、佐賀玉屋、
イオン佐賀大和、ゆめタウン、
あんくるふじや(佐賀本店、北部店)、
森本酒店、しめなわ酒店 他

電話、FAXまたはメールでの注文は下記をお願いいたします。

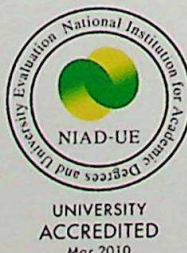
〒840-0027 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学生協同組合

E-mail Sadaicoop.Honbu@me3.seikyou.ne.jp TEL 0952-25-4450/FAX 0952-25-4287

佐賀大学メールマガジン登録受付中!!

毎号、受験生へ向けて、OB・在学生からの熱いメッセージ掲載。

登録は、→ <http://www.saga-u.ac.jp/mailma/>



編集後記

本号の特集は、「キャリアセンターの取り組み」の紹介と、さらにこの厳しい就職戦線を読み切った「夢を掴んだ学生たち」の声です。「面倒見のいい大学」を標榜している本学としては、就職支援は最重要責務であり、キャリアセンターを中心に、ありとあらゆる手段を使ってバックアップしています。キャリアガイダンスの充実、会社説明会の追加開催、学生の希望と会社のミスマッチの解消のための情報交換会の開催など、そして、学長自らも企業訪問し就職先開拓に努めています。その結果、今年度も九州でもトップクラスの就職率を維持しています。

もっとも、大学として就職率を上げるには、就職活動や支援だけではだめで、やはり良い教育を提供し、良い学生を育てることこそ大前提です。大学の業務の根本である教育が、やはり問われることになります。本学では、目下、「全学教育機構」や「国際交流推進センター」を創設し、教養豊かな国際人を送り出せるように急ピッチで整備を進めています。これらの組織についても今後お伝えしたいと思います。

(広報室長 早瀬 博範)

誌 上 ギ ャ ラ リ ー

作品名

「 baby 」

(第56回美術・工芸課程卒業制作展 出品作)

やました あけみ

山下 明美 (文化教育学部美術・工芸課程4年 窯芸専攻)



【作者プロフィール】

- 1989年 佐賀県生まれ
- 2010年 第52回美術・工芸課程「総合展」
- 2011年 グループ展「幻想大陸探検報告書」
 (アートプロジェクト「呉福万博2011」内企画)

【作者コメント】

この作品は、「かわいい」という言葉がやたらと使われるのに違和感を感じたことから、その違和感を表現しようとしたものです。

一般に好まれる生き物たちの要素と、誰でも可愛いと感じる赤ちゃんの要素を合わせています。

展覧会では、ドローイングやマケットも展示し、作品の意図や制作の過程がわかりやすいようにしました。

